

BALNIBARBI

INVESTOR'S

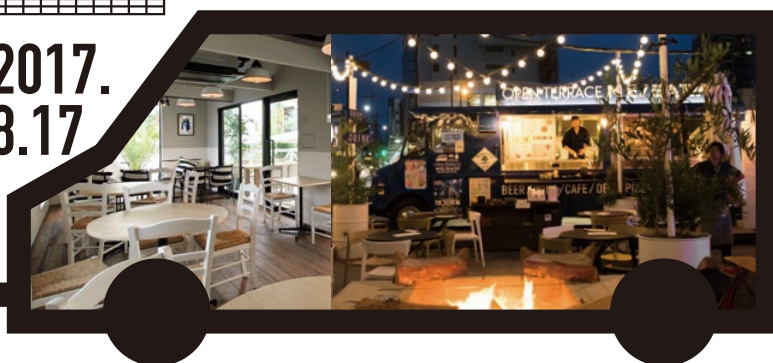
REPORT 2017.7

CODE 3418



OPEN TERRACE
ME 水月 EAT OPEN!

2017.
8.17



Consolidated Financial Statement

here's
the
POINT

2017年7月期

9店舗の新規出店と既存店の順調な推移により売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増収増益

2018年7月期

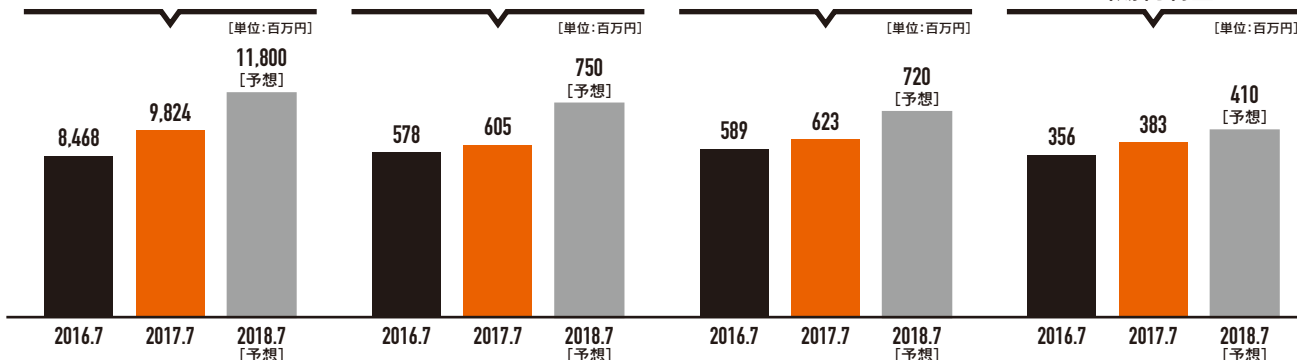
大型店舗の出店とM&Aによる規模拡大により売上高は118億円を予想
既存の組織に加え、経営層の強化により、今後の更なる成長に向けた
人材組織戦略を推進

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益



2017年7月期

実績

9,824

百万円

前年比

16.0% UP

605

百万円

前年比

4.7% UP

623

百万円

前年比

5.9% UP

383

百万円

前年比

7.7% UP

2018年7月期

予想

11,800

百万円

前年比

20.1% UP

750

百万円

前年比

23.9% UP

720

百万円

前年比

15.4% UP

410

百万円

前年比

6.8% UP

1株当たり当期純利益(円)

2017年7月期

実績 92円01銭

2018年7月期

予想 97円95銭

CEO INTERVIEW

「進化」から「拡大」へ 新たな仲間を迎え、 更なる成長のステージへ

HIROHISA SATO

BALNIBARBI Co.,Ltd. CEO

代表取締役社長

佐藤 裕久

今期の主なトピックスは？

今期は色々な意味でバルニバービにとってのまた新たな“進化期”でした。

大津市(滋賀県)や奈良市といった地方自治体との取り組みに加え、駅の再開発プロジェクトにおける食、宿泊、観光を融合した大規模なリノベーション開発、従来のロードサイド店舗のイメージを一新し、新たな魅力を創出するロードサイドリノベーション開発のモデル店舗、機能だけではなく人々が集いコミュニティが生まれるカフェと共存する事で、新たな価値を持つ観光案内所のモデル店舗の展開など、どれも私たちならではのロケーション開拓による街の活性化につながる試みでもあり、新たなバルニバービの“進化”の一步を踏み出した1年でした。



新しく生まれ変わった奈良市観光センター「NARANICLE」

また、組織戦略においても共に成長・拡大を支えてきた仲間たちにとって、より「なりたい自分」を実現できるフィールドとして組織改革も行いました。店舗運営子会社制度という我々独自の経営組織をより強固なものにすべく、店舗運営子会社の取締役を8名増員し、仲間の叶えたい「未来」をサポートするための体制を整えています。

今後の事業戦略として重視しているポイントは？

今後の事業戦略としては、主に3つの取り組みを推進していきます。

1つめは人材組織戦略への取り組み。先日発表させていただきましたが、新たに㈱リアルティストと㈱菊水が私たちのグループに仲間入りをしました。リアルティスト代表の路次君とは会社設立時に後押しをした縁がきっかけで12年来の付き合いがありますし、菊水は代表の高橋さんが私が通っていた京都の東山高校の後輩で、共に学生時代を京都で過ごした思い出を共有するOBという人の縁が結びつけたもので、単なる事業拡大のためだけのM&Aではありません。バルニバービは創業から今も変わらず、「食べることの幸せを形にする」をキーメッセージとして、地域や街の特性に合わせたオリジナルな店舗を展開してきました。

単一的なチェーン展開ではない個店ごとの店舗運営を行う店舗運営子会社をつかさどる経営者の育成と、個性を活かした店舗オペレーションによる自立的店舗運営により成長してきた結果が売上であり、店舗数であり、数字として表れています。今回のM&Aも前述の人間関係をベースに、中小規模の飲食企業をグループ化することで得られる社外の経営者の店舗運営力、マネジメント力と当社のロケーション開発力、地域創生ネットワーク、店舗プロデュース力を活用し、更なる成長を図ることを目的にしたもので「M&A」ではなくなんか違う言い方がしたいな～と思っているくらいです(笑)。

2つめは新たな店舗開発への取り組みです。物件を大型化・複合化することにより、“食”+αで色々な仕掛けを行ってきました。



京都「菊水」

大津の「CALENDAR HOTEL」はカプセルホテルを企画から開発、運営をすることで私たちなりの宿泊のノウハウを見つけるきっかけとなりました。それゆえ、来春に予定している菊水のリニューアルは大きな庭園とそのノウハウを活かした新たな付加価値を創出する場所に生まれ変わるようなプランニングを進行中です。上場したことで、より広く多くの方からの信頼や評価もいただき、できることがたくさん増えました。だからこそ私たちが同じように「食べることの形を幸せにする」ことに共感し、ともに切磋琢磨できる仲間と出会うことでより広がりを見せていきたいと思っています。

3つめは地域創生ネットワークの形成です。地域創生は1+1=2という簡単な方程式ではできません。だからこそ、単に流行りものをもって来るのではなく、今まで見過ごされてきた魅力に“気づく”ためのお手伝いをさせていただいていると思っています。詳細は申し上げられないですが、現在新たに数ヶ所の自治体からお声掛けいただいております。地域との関係性を、日々触れ合いながら構築していくことで、表面だけでやっていることは違う地域の本質に触れた地域活性化の糸口が見えると思っています。

来期の出店は どんな展開を予定していますか？

来期は今現在発表しているだけでプロジェクトが4件進行しています。8月には茨城県水戸市中心市街地活性化のプロジェクトからの誘致を受け、126席の「オープンテラス ミーイト」をオープンしました。室内はトレーラーハウスと雨をしのげるデッ

キ席が全部で30席ほど、あとは全て広い空の下、開放感抜群なオープンテラスです。テラスはもちろん天候に左右されることもありますが、これから秋冬に向けて屋外だからこそ楽しめる、キャンプファイヤーを利用したメニューやこたつ席の設置なんかも計画しています。

そして11月には滋賀県3店舗目、商業施設の中とは思えない琵琶湖ビューを借景にしたレストランを「ピエリ守山」に、来春には日比谷の新たなランドマークとなるであろう「東京ミッドタウン日比谷」、また京都の「菊水」も春の訪れを感じる気持ち良い季節に新たな魅力とともにリニューアルしてオープンする予定です。



「東京ミッドタウン日比谷」にオープン予定の店内イメージパース

株主様へのメッセージはありますか？

上場して初めての株主総会から約1年たち、今ふと振り返ると本当にあの当時でも多くの株主様に私たちの企みを応援くださっていたなと感じています。店舗数や事業計画といったごく一般的な「指標」だけで見るのではなく、私たちの店に訪れ、時に叱咤激励もいただきながら1年間どれだけの方が訪れてくれたのだろう、そう思うと私は嬉しさとともにますます覚悟と確信がわいてきます。

バルニバービで働く全てのみんなに伝えるメッセージ、「食べる、食べていただくという仕事を通してなりたい自分になる」。私たちが進めようとしている飲食業のあり方や考え方が結果事業として成長し、未だかつて他社が成し得なかった成長の物語を紡いでいく様を一緒に見ていただければと思います。

opics

2017年7月期は当社ならではの独自のロケーション開拓により、街の活性化につながる大規模かつ複合型の店舗開発など全9店舗をオープン!滋賀、奈良など新たなエリア拡大に加え、地方行政機関との取り組みにより地域創生ネットワークの形成を推進!

News!



「HOTERES (週刊 ホテルレストラン)」佐藤裕久の連載スタート

1966年創刊、ホテル・レストラン業界唯一の専門誌『HOTERES (週刊 ホテルレストラン)』8月11日号より、当社代表取締役社長・佐藤裕久の連載がスタートしました! 佐藤の著書『一杯のカフェの力を信じますか?』(河出書房新社)発行から11年目を迎え、改めて佐藤の創業時の思いや、バルニバービの展望についてを語っております。

HOTERES Online
<http://www.hoteresonline.com/articles/4213>

New Shop!



草津川跡地公園における新規出店
SUNDAY'S BAKE RIVER GARDEN
2017.4.20 OPEN

滋賀県草津市中心市街地活性化事業の一つである「草津川跡地テナントミックス事業」の公募型プロポーザルにおいて事業者として選定を受け、出店。イベント広場や四季折々のガーデンが広がる公園内でピッツェリア・トラットリア・カフェとして市民や観光客などで賑わう交流の場の創出に加え、豊かな自然と歴史的な名所も多い滋賀県のインバウンドも視野にいたれた新たな観光地としての魅力創出を目指す。

New Shop!



東京都練馬区における新規出店
UPMARKET PIZZA&CAFE
2017.6.1 OPEN

環七通り沿い、周辺にはオフィス、個人商店、住宅が混在しながらも人々が集い交流する場所がなく、まだまだ賑わい少ないエリアで、事務所、店舗、住居、ガレージと建物を取り囲む豊かな中庭を含めた約710㎡の敷地をリノベーション開発し、ピッツェリア&カフェを出店。街の活性化、延いては周辺エリアの環境価値向上につながる地域を巻き込んだ練馬豊玉エリアの新たなランドマークを目指す。

CEO INTERVIEW

Strategy

人材組織戦略

各子会社の特色と強さを発展させるため、既存の店舗運営子会社・事業子会社の体制再編を行い、代表権を持ち自らの責任において店を営む仲間が新たに加われました。エリア、ジャンルの異なる複数店舗のマネジメントをする店舗運営子会社、単一店舗を主とし、より自立した個性ある店舗運営体制を目的とした店舗運営子会社を中心に、現在は店舗運営子会社10社、製造子会社1社、事業会社1社の体制となりました。今後は新たにグループ化を発表した株式会社菊水、株式会社アルティストとのシナジー効果により個人の成長はもちろん、バルニバービグループとしても更なる成長を図ります。



地域創生ネットワークの形成

まだ見ぬ日本各地に点在する魅力あふれる“パッドロケーション”の開拓により、その街ならではのオリジナルな業態をゼロから生み出すことが私たちにとっての地域創生の第一歩です。大事なのは東京と比較して「ないもの探し」をするのではなく、そこで暮らす人々、街の歴史や文化、街の持つ空気感など、その街だからこそ「あるもの気づき」をすること。街を歩き、人と出会い、語らうこと、それこそが私たちが考える地域創生ネットワークの原点であり、人とヒトのコミュニケーションの根本でもあると考えます。その街を知り尽くしている行政・自治体との連携により多くの新しい出会いや発見がありました。これからも新たな街や人との出会いに加え、地方行政機関との取り組みにより地域創生ネットワークの形成を推進していきます。

Challenge



新たな
店舗開発への
取り組み

パッドロケーションでの開発により街をつくり環境価値を向上させた実績は、都心部の“街づくり”にもつながります。来春開業の日比谷公園前の再開発プロジェクト「東京ミッドタウン日比谷」において、皇居外苑と日比谷公園を一望する屋上空中庭園を囲む区画で約150席のレストランの出店が決定。最先端のショップ、文化・アミューズメント施設、多様なジャンルの飲食店という都心部ならではの寄せ集めの「商業施設」ではなく、複合的な機能や役割に加え、そこに集う人や暮らす人、働く人の利便さや楽しさをより追求し、ただ食すだけではなく、心地よいロケーション、空間、サービス、料理が融合した都会で過ごす人々のライフスタイルに根差した「東京のオアシス」を目指します。

Region Creation



New Project!



茨城県水戸市「まちなか・スポーツ・にぎわい広場」における新規出店

OPEN TERRACE ME-EAT
2017.8.17 OPEN

国道50号沿いで水戸市の中心街に位置した南町三丁目のデパート跡地で、水戸市中心市街地活性化に向けた新施設「まちなか・スポーツ・にぎわい広場」内において、周辺環境を活かした126席のオープンテラスカフェを出店。キッチンカー（移動販売車）、オープンテラスを併設し、地産素材を使ったメニューの提供に加え、BBQ、ビアガーデンなど季節に応じた楽しさを提供する。



New Project!



滋賀県守山市の大型商業施設「ピエリ守山」における新規出店

2017.11 OPEN [予定]

滋賀県守山市にある大型商業施設「ピエリ守山」における飲食区画のより一層の賑わい向上のため誘致され出店が決定。イタリアンを軸に、季節ごとに景色の変わる琵琶湖に沈む夕日が絶景のサンセットガーデンテラスでオリジナルカクテルやBBQを楽しめるカフェ&レストランとして、滋賀県周辺には今までなかった新たなランドマークを目指す。



MESSAGE from STAFF

日本全国の“楽しい”と“美味しい”の発掘と融合が僕にとっての「地域創生」

「地域創生」は、“昔からあるもの”の発掘と“今”との融合から生まれると思っています。例えば食材、人、風景・地方に昔から存在する、そこにしかないものと“今”という時代の流れを融合したメニューや空間。今流行りの斬新な“何か”だけではなく、昔からそこに居る人たちに受け入れてもらえるものでなくてはなりません。また、夜の消費も課題です。僕が地方に行くたびに感じるのは、明るい時間帯の消費はあれど、周辺の夜の娯楽が極端に少ない。夜の滞在を促進するための消費創造はこれからの「地域創生」を考えるうえでとても重要な課題です。今、僕は滋賀県と奈良県の3店舗をみていますが、地元の若いオモロイ奴のパワーが半端ない!「地方創生」の本には書いてないようなアイデアがたくさんできます。これからも日本全国の街、人、食材・・・たくさんの発掘と融合により僕たちなりの「地域創生」に取り組み続けていきたいと思っています。



RYOHEI TANAKA

BALNIBARBI Co.,Ltd. DIRECTOR,
MANAGER of PRESIDENT'S OFFICE
株式会社バルニバービ取締役 社長室室長

BALNIBARBI AUGUST Co.,Ltd. PRESIDENT
株式会社バルニバービオーガスト
代表取締役社長

田中 亮平



YOICHI HARA

wan-na be Co.,Ltd. PRESIDENT
株式会社ワナビー 代表取締役社長
原 世一

人とヒトをつなぐ架け橋、 代表になって改めて感じた僕の「なりたい自分」

2016年8月から店舗運営子会社の代表取締役社長となり、バルニバービの1号店「Hamac de Paradis」や「GARB」など歴史ある店舗を中心に現在8店舗の運営を行っています。僕にとって初めての飲食業でもあるバルニバービで「なりたい自分」は一貫して「人とヒトをつなぐ架け橋になる」ことです。歴史ある店だからこそ、また新たな歴史を刻んでいく。そこにはオリジナルな空間、接客、メニューだけではなく、店で働くスタッフそれぞれの個性、思いを表現することが不可欠です。コピペできるマニュアルからは決して生まれえない、バックグラウンドも違う一人一人だからこそ「〇〇したい!」を言える環境とそれを叶える土俵づくりをすることが僕の今代表として存在している意義だと思っています。100人いたら100通りの働き方や「なりたい自分」を叶える場づくりにこれからも挑戦し続けていきます。

目には見えない信頼関係から生まれる 「食の安心・安全」

「お客様の美味しい!の笑顔をみるための一皿」をつくるためには、目には見えない信頼関係が生み出す“安心の連鎖”が必要だと思っています。無農薬、殺菌処理済み・・・“安全”を表す言葉はたくさんありますが、それだけでは“美味しさ感”はありません。生産者の方々が想いをこめて育てた良質な食材を、料理人が確かな技術で形にし、ホールスタッフがお客様に届ける。レストランではそんなこだわりや思いが詰まった一皿により無意識に感じとれる“安心”が、お客様の美味しい!を支えます。今契約農家さんは30人程いますが、僕たちの一皿への思いに共感し、ともに店を支えてくれている大切な同志でもあります。メニューチェックや衛生管理、数字の守りと攻め、食材管理と見極めなど料理人として当たり前のことを当たり前にやること、また個々の技術の向上や経験を凝縮した一皿への思いを次世代の料理人たちに繋げていくことが僕の「なりたい自分」でもあり、これからの使命でもあると思っています。



HIDEKI OFUDE

BALNIBARBI Co.,Ltd.
EXECUTIVE OFFICER EXECUTIVE CHEF

株式会社バルニバービ
執行役員 総料理長
大筆 秀樹



ABOUT US

会社概要 (平成29年7月31日現在)

会社名	株式会社 バルニバービ
本店所在地	大阪市中央区南船場四丁目12番21号
資本金	402,370千円
設立	1991年9月
事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
従業員数	連結603名
子会社	株式会社アスリート食堂 株式会社バルニバービインターフェイス バルニバービ・スピリッツ&カンパニー株式会社 株式会社ワナビ 株式会社パティスリードバラディ 株式会社バルニバービコンシスタンス 株式会社バルニバービイートライズ 株式会社バルニバービウィルワークス 株式会社バルニバービタイムタイム 株式会社バルニバービオーガスト 株式会社OPAS(非連結子会社) 株式会社ジョイパーク(非連結子会社) 株式会社 菊水(2017年9月1日連結)

株式の状況 (平成29年7月31日現在)

発行可能株式総数	14,556,000株
発行済株式の総数	4,185,800株
株主数	3,919名

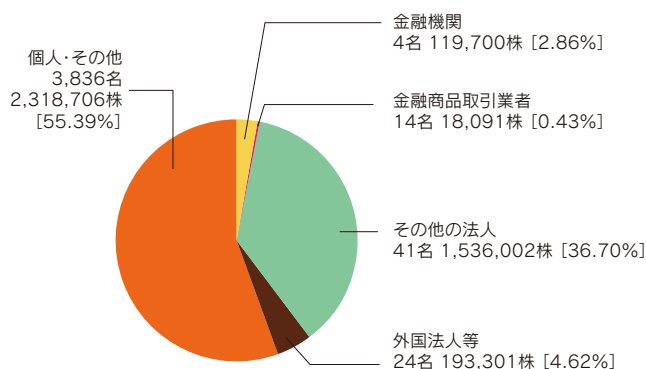
大株主の状況

順位	株主名	持株数[株]	持株比率
1	株式会社HUMO	1,421,600	33.96%
2	佐藤裕久	1,241,500	29.65%
3	麒麟麦酒株式会社	94,000	2.24%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	80,600	1.92%
5	中島邦子	75,300	1.79%
6	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	63,500	1.51%
7	安藤文豪	50,100	1.19%
8	CITI BANK(SWITZERLAND)AG	40,000	0.95%
9	資産管理サービス信託銀行株式会社	30,000	0.71%
10	田中 亮平	25,300	0.60%

役員 (平成29年10月26日現在)

代表取締役社長	佐藤 裕久
常務取締役	安藤 文豪
常務取締役	中島 邦子
取締役	田中 亮平
取締役	水澤 完昭
取締役	永島 宏美
取締役	路次 徹夫
取締役	谷間 真
取締役	替地 俊二
常勤監査役	柴田 政義
監査役	北山 雅章
監査役	青木 巖

株式の所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
期末配当金受領株主確定日	7月31日
中間配当金受領株主確定日	1月31日
定時株主総会	毎年10月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
------	--

上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.balnibarbi.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します

And More

BALNIBARBI IRメール配信のお知らせ
<http://www.balnibarbi.com/company/ir/magazine/>

新規出店や適時開示情報などのIRリリースをリアルタイムで配信しています。ぜひご利用ください。

バルニバービオフィシャルマガジン
"ATMOSPHERE"
www.balnibarbi.com/atmosphere/

シーズン毎の各店おすすめ情報や新店・新プロジェクト情報を掲載。また毎号の特集ページではお店に通うだけでは知ることのできないバルニバービの魅力に迫る一冊! さらに巻末の「眠りにつく前に...」では代表佐藤による、その時々々の思いや、考えなどを綴っています。ぜひご一読ください!



BALNIBARBI 株式会社 バルニバービ

東京本部	〒111-0051 東京都台東区蔵前 2-15-5 MIRRORビル 6F	TEL:03-5820-8280	FAX:03-5820-8281
大阪本部	〒550-0015 大阪市西区南堀江 1-14-26 中澤唐木ビル 6F	TEL:06-4390-6544	FAX:06-4391-3522
DESIGN STUDIO	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-3 室町NSビル3F	TEL:03-3548-8850	FAX:03-3548-8853

www.balnibarbi.com